

柔 道

専門委員長 吉田 聡 介



今年度は新型コロナウイルスの影響で初めて全国高校選手権、県高校総体、四国高校選手権、全国高校総体と相次いで中止される事態に陥りました。とくに高校3年生の選手にとっては非常に無念であり、厳しい状況となりました。

その後、全国大会にはつながらないが、何とか3年生の集大成の場をつくろうと県、県教育委員会、県高校体育連盟が連携し、県高校総体代替柔道競技が8月8日に開催されることになりました。

大会は感染拡大防止のため、マスク着用や会場での検温、手指消毒の徹底、大会日程・プログラムの短縮、無観客形式で出場制限を設けるなど運営に細心の注意を払いました。また柔道専門部初の試みとして、試合を撮影し、後日、限定公開で動画配信を行うなどの取り組みも行いました。

全国にはつながらない大会でしたが、選手は終始真剣

な表情で試合に臨み、試合が終わった後には充実感に満ちた表情を見せてくれました。その表情が大会の意義を物語っているように感じました。結果、男子団体は阿波、女子団体は生光学園が優勝しました。

県高校新人柔道選手権大会は新型コロナウイルス感染対策を徹底し、10月18日に開催しました。結果、男子団体は阿波、女子団体は生光学園が優勝しました。

全国高校柔道選手権大会県予選も感染対策を徹底した上で、11月21・22日の2日間で開催し、男子団体は鳴門渦潮が初優勝、女子団体は生光学園が優勝し、3連覇を達成しました。

県高校選手登録者数は、この3年間、少ない人数のまま横ばい状態で推移しており、団体戦出場校数、個人戦出場者数の減少に歯止めがかからず、寂しい状態が続いています。2022年に四国で開催されるインターハイを見据え、関係諸機関と連携強化をさらに進め、全国で活躍できる選手の育成を図るとともに、競技者の獲得にも力を入れて、高校柔道を盛り上げていきたいと思ひます。

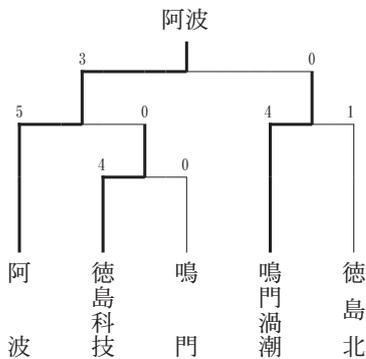
末筆ながら、一日も早く新型コロナウイルスが終息することを切に願うとともに、皆様のご健康を心よりお祈り申し上げます。

◎第60回 徳島県高等学校総合体育大会代替柔道競技

令2.8.8 於 鳴門ソイジョイ武道館

○団体試合 トーナメント

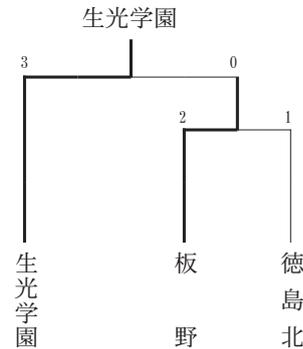
<男子>



<男子団体決勝>

阿 波			3 - 0	鳴 門 渦 潮		
先鋒	野 口		引 分		岡 田	先鋒
次鋒	宗 石	○	一本背負投		妹 尾	次鋒
中堅	坂 東	○	合 技		四 宮	中堅
副将	吉 岡		引 分		林	副将
大将	天 羽	○	腕挫手固		大 久 保	大将

<女子>

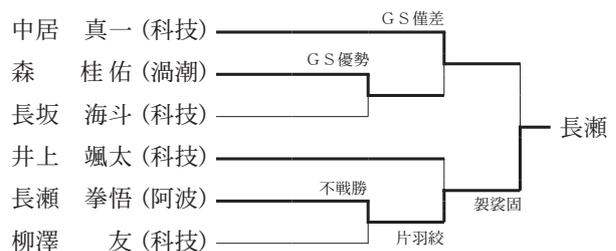


<女子団体決勝>

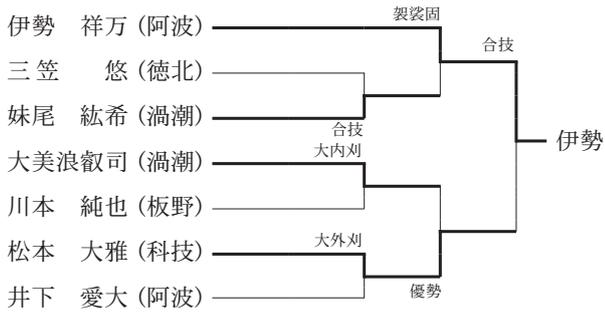
生 光 学 園			3 - 0	板 野		
先鋒	津 川	○	内 股		板 東	先鋒
中堅	坂 口	○	合 技		竹 倉	中堅
大将	幸 田	○	合 技		福 本	大将

○個人試合トーナメント (男子)

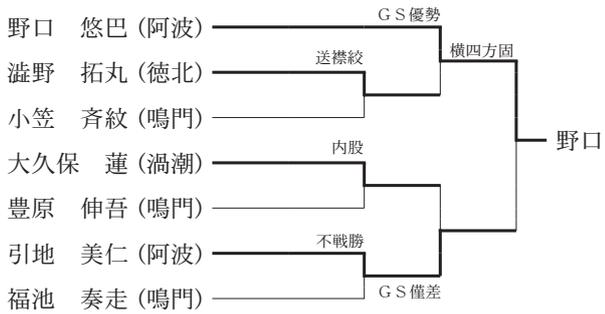
◇男子 60kg 級 (6名)



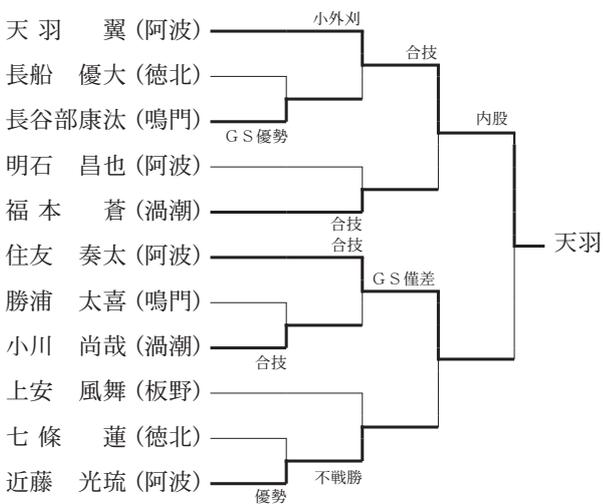
◇男子 66kg 級 (7名)



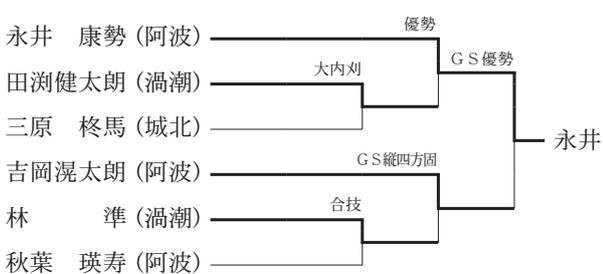
◇男子 73kg 級 (7名)



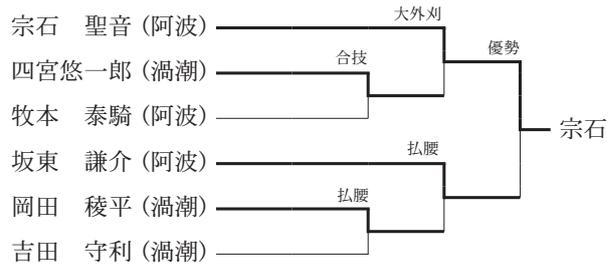
◇男子 81kg 級 (11名)



◇男子 90kg 級 (6名)



◇男子 100kg 級 (6名)

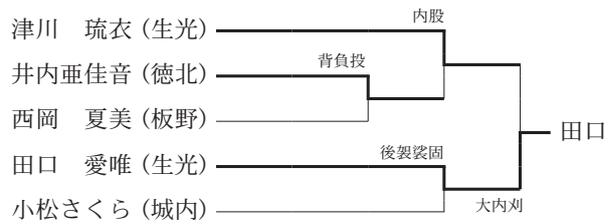


◇男子 100kg 超級 (6名)

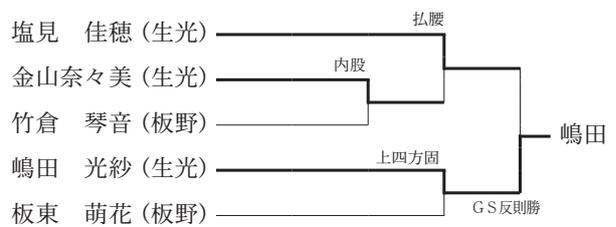


○個人試合トーナメント (女子)

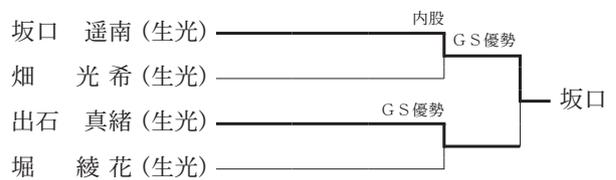
◇女子 48kg 級 (5名)



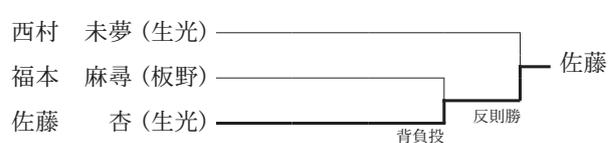
◇女子 52kg 級 (5名)



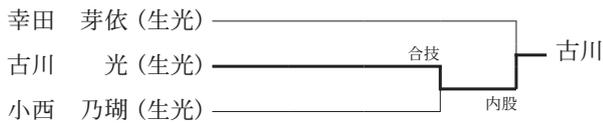
◇女子 57kg 級 (4名)



◇女子 63kg 級 (3名)



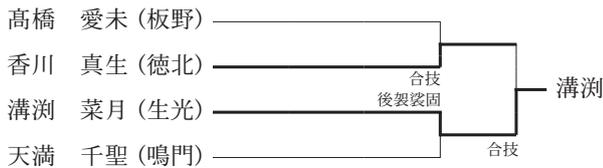
◇女子 70kg 級 (3名)



◇女子 78kg 級 (1名)

丸山 想菜 (生光)

◇女子 78kg 超級 (4名)



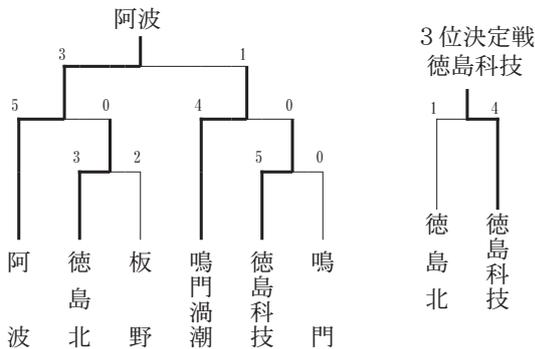
◎令和2年度徳島県高等学校新人柔道選手権大会

令 2. 10. 18 於 鳴門ソイジョイ武道館

○団体試合

- ◇男子 阿波・鳴門渦潮・徳島北・徳島科技・鳴門・板野
- ◇女子 板野・生光学園・徳島北

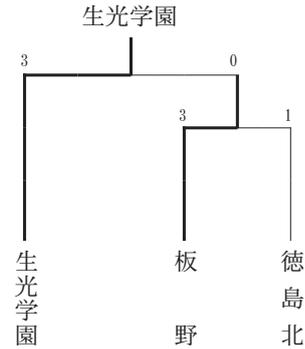
○男子団体トーナメント



<男子団体決勝>

阿 波			3 - 0	鳴 門 渦 潮		
先鋒	近 藤	○	優 勢		大 美 浪	先鋒
次鋒	住 友		内股すかし	○	福 本	次鋒
中堅	永 井	○	内 股		大 久 保	中堅
副将	佐 藤		引 分		田 渕	副将
大将	引 地	○	優 勢		吉 田	大将

○女子団体トーナメント

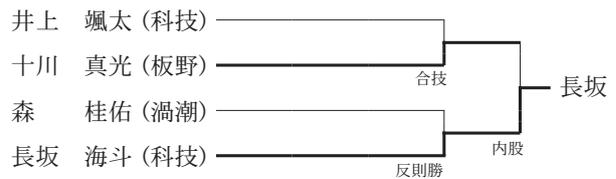


<女子団体決勝>

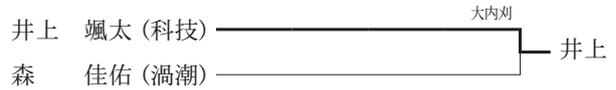
生 光 学 園			3 - 0	板 野		
先鋒	佐 藤	○	合 技		福 本	先鋒
中堅	丸 山	○	合 技		板 東	中堅
大将	溝 渕	○	内 股		竹 倉	大将

○個人試合トーナメント (男子)

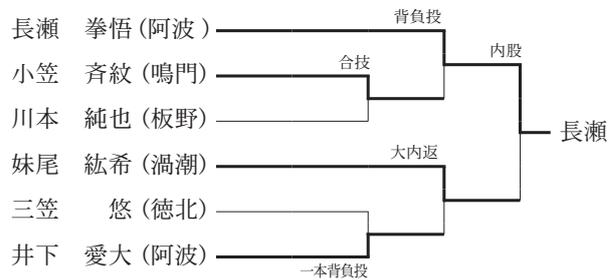
◇男子 60kg 級 (4名)



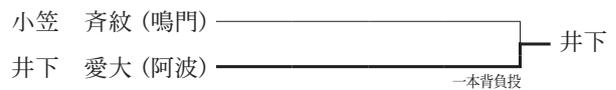
第3・第4順位決定戦



◇男子 66kg 級 (6名)



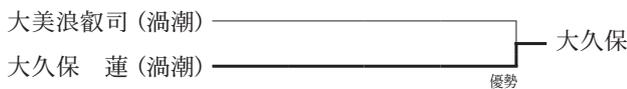
第3・第4順位決定戦



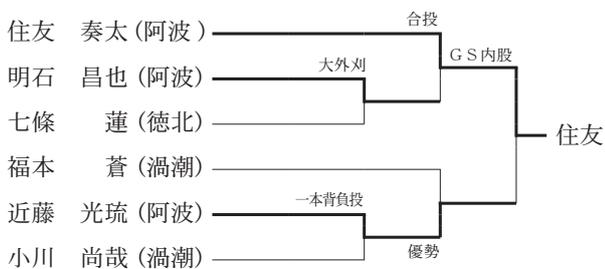
◇男子 73kg 級 (9名)



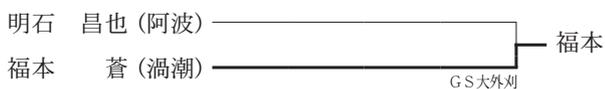
第3・第4順位決定戦



◇男子 81kg 級 (6名)



第3・第4順位決定戦



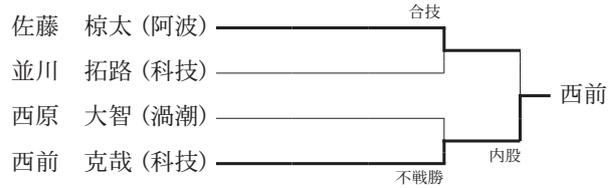
◇男子 90kg 級 (3名)

氏名	①永井 康勢 (阿波)	②田渕健太郎 (渦潮)	③秋葉 瑛寿 (阿波)	勝	順
①永井 康勢 (阿波)	-	○優勢	○小外刈	2	1
②田渕健太郎 (渦潮)	△	-	○優勢	1	2
③秋葉 瑛寿 (阿波)	△	△	-	0	3

◇男子 100kg 級 (3名)

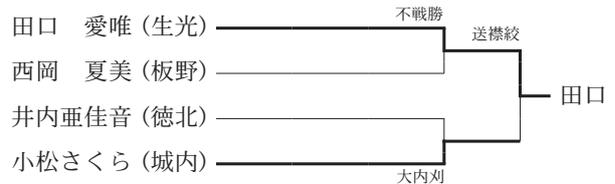
氏名	①岡田 稜平 (渦潮)	②牧本 泰騎 (阿波)	③吉田 守利 (渦潮)	勝	順
①岡田 稜平 (渦潮)	-	△	△	0	3
②牧本 泰騎 (阿波)	○不戦勝	-	○不戦勝	2	1
③吉田 守利 (渦潮)	○不戦勝	△	-	1	2

◇男子 100kg 超級 (4名)



○個人試合トーナメント (女子)

◇女子 48kg 級 (4名)



◇女子 52kg 級 (3名)

氏名	①板東 萌花 (板野)	②竹倉 琴音 (板野)	③金山奈々美 (生光)	勝	順
①板東 萌花 (板野)	-	○合技	△	1	2
②竹倉 琴音 (板野)	△	-	△	0	3
③金山奈々美 (生光)	○合技	○出足払	-	2	1

◇女子 57kg 級 (3名)

氏名	①佐藤 杏 (生光)	②福本 麻尋 (板野)	③橋本 彩香 (松西)	勝	順
①佐藤 杏 (生光)	-	○合技	○一本背負投	2	1
②福本 麻尋 (板野)	△	-	○内股	1	2
③橋本 彩香 (松西)	△	△	-	0	3

◇女子 63kg 級 (1名)

畑 光希 (生光)

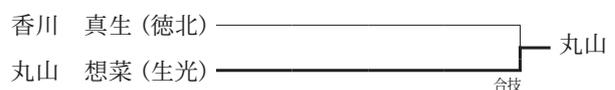
◇女子 70kg 級 (1名)

古川 光 (生光)

◇女子 78kg 級 (1名)

溝渕 菜月 (生光)

◇女子 78kg 超級 (2名)



◎第43回全国高等学校柔道選手権大会徳島県予選

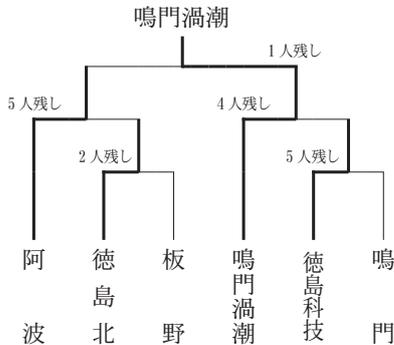
令2. 11. 21・22 於 県立中央武道館

○団体試合

◇男子 阿波・鳴門渦潮・徳島科技・徳島北・鳴門・板野

◇女子 生光学園・板野・徳島北

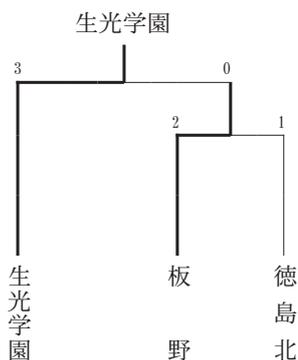
○男子団体トーナメント



<男子団体決勝>

学校名	技名	学校名
阿波	1人残り	鳴門渦潮
長瀬 拳悟	引分	妹尾 紘希
住友 奏太	払腰	○ 福本 蒼
佐藤 椋太	○ 合技	福本 蒼
佐藤 椋太	引分	田渕健太郎
永井 康勢	崩上四方固	○ 岡田 稜平
引地 美仁	引分	岡田 稜平
		大久保 蓮

○女子団体トーナメント

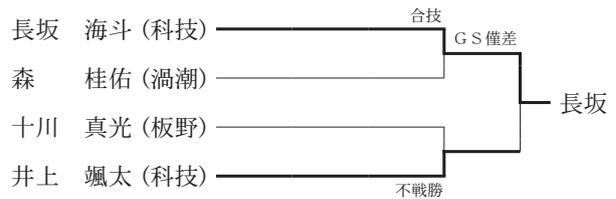


<女子団体決勝>

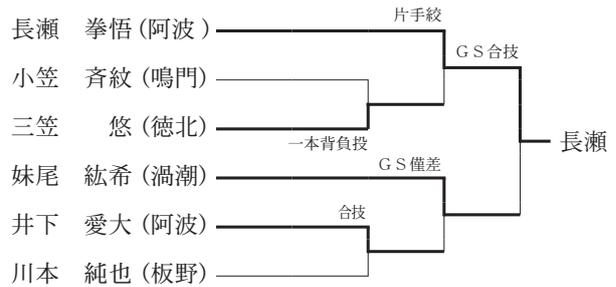
学校名	技名	学校名
生光学園	3 - 0	板野
金山奈々美	○ 横四方固	板東 萌花
佐藤 杏	○ 横四方固	福本 麻尋
溝渕 菜月	○ 合技	竹倉 琴音

○個人試合トーナメント (男子)

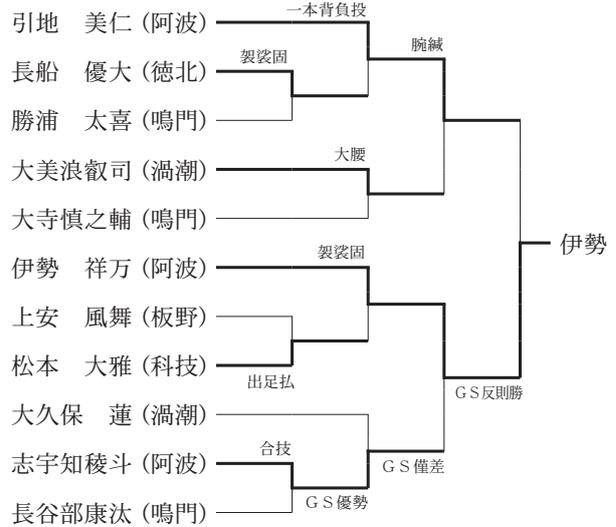
◇男子 60kg 級 (4名)



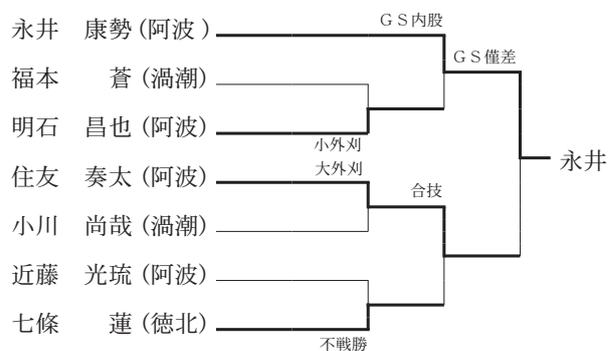
◇男子 66kg 級 (6名)



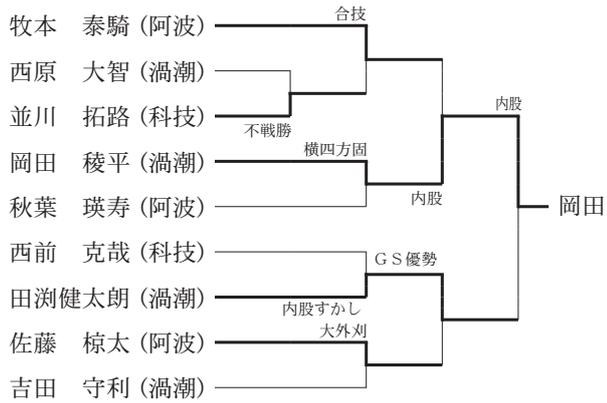
◇男子 73kg 級 (11名)



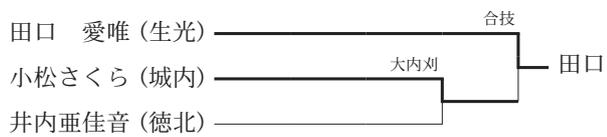
◇男子 81kg 級 (7名)



◇男子無差別級（9名）



◇女子48kg級（3名）



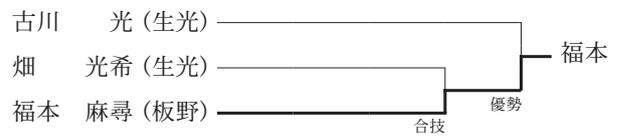
◇女子52kg級（4名）



◇女子57kg級（1名）

佐藤 杏 (生光)

◇女子63kg級（3名）



◇女子無差別級（3名）

